

# 代表質疑

## 公明党

- 笹浪 保 宮本 均
- 大場 諭 堀越 優
- 松葉 雅浩 戸村 節子
- 小林 妙子 大川 正博

### 救急医療

**問** 施設方針に、救急医療について、国立国際医療センター・国府台病院、東京歯科大学市川病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、順天堂大学浦安病院において、重篤患者や小児患者の救急受け入れ体制の充実を図るとある。これら4病院はどのような役割分担で、今後受け入れることとするのか。

**答** また、本市の今後の救急医療体制は十分か。

**答** 施設方針にある3、5次救急医療体制の4総合病院において、重篤患者や小児救急患者の受け入れを各病院が有する診療科目により分担して対応する。

しかし、本市は3次救急医療機関を持たないため、心肺停止等の生命に危険のある患者が発生した場合、県内の3次救急対応が可能な医療機関に搬送する必要がある。

**問** 心肺停止等の患者は、対応可能な医療機関に搬送することのことが、救急医療体制等の不足が生じた場合は、どう対応するのか。

### 周産期医療

**答** 直ちに医療資源の整備を行うことは、困難であることから、1次、2次、3、5次救急医療、及び近隣の3次救急医療との連携を常に良好に保ち、未然に救急医療不足を防ぐ体制が必要である。限りある医療資源を工夫し、有効活用することに対応していきたいと考えている。

**問** 順天堂大学浦安病院は、平成22年度において県から産科救急の高度医療に対応する、地域周産期母子医療センターとして認定される。

**問** 市は整備費用の一部を支援するが、国や県、浦安市も支援するのか。

**答** 同病院では、NICU(新生児集中治療管理室)3床、及びMFIUCU(母体・胎児集中治療管理室)2床を増床するなど、小児医療施設、周産期医療施設を整備する。

同病院は、産科にかかわる本市からの救急搬送率が高いことから、施設整備費全体の約46%を本市と浦安市が両市同額で支援している。

### 待機児童の解消

**問** 市長の公約で「待機児童ゼロを目指す」と掲げ、施設方針に、待機児童の解消を目指した総合的な保育計画を推進するところがあるが、どのように取り組んでいくのか。

**答** 取り組みの指針となる

**問** 京成本線の立体化は、本市にとって重要な課題となっている。特に京成八幡駅や国府台駅と市川真間駅



耐震改修工事が終了した小学校

### 京成本線の立体化

**問** 京成本線の立体化は、本市にとって重要な課題となっている。特に京成八幡駅や国府台駅と市川真間駅

**答** 取り組みの指針となる

**問** 京成本線の立体化は、本市にとって重要な課題となっている。特に京成八幡駅や国府台駅と市川真間駅

### 耐震改修

**問** 本市は、平成20年度に定めた市川市有建築物耐震化整備プログラムに基づき、公共施設の耐震改修を実施している。22年度の国の耐震改修補助金等の予算減額で、改修計画の進捗に影響はないのか。

**答** 本市の耐震改修事業の国の補助対象としては、二つの制度がある。

**問** 一つ目は、公立文教施設整備費に含まれる、学校施設の安心・安全な学校づくり交付金で、整備費の全体予算は減額されるが、交付金自体は逆に増額となっている。

二つ目の市営住宅の地域住宅交付金制度は廃止だが、新制度の創設で補助金は交付される。以上から、耐震改修事業への影響は少ないと考えるが、昨今の経済状況の冷え込みで、市税収入の低下も予想されるので、状況に応じた対策を講じていく。

### 交通安全対策

**問** 自転車の安全利用に関する条例を制定するが、条例制定までの経緯を問う。

**答** また、市民は実効性のある条例を望んでいる。どのように進めていくのか。

**答** 本市はこれまで安全対策として、幼児、児童を対象に歩行安全教室や自転車の安全運転教室、街頭での交通安全指導等を実施してきた。

現在、交通事故全体の発生状況は減少傾向にあるが、自転車に関する事故の割合が非常に高いことから、安全対策の一つとして、条例の制定を検討した。

条例の実効性については、警察との協働による交通安全教育の充実と街頭での指導、高齢者や中・高校生への自転車安全教室も検討している。

今後、他市の指導事例を参考にしながら、指導手法について、検討していきたいと考えている。

### 給食費の無料化

**問** 学校給食の無料化については、国の子ども手当の動向も注視しながら、保護者を含めた市民の意向を確認した上で検討していきたいとのことである。

**答** しかし、学校給食の無料化は、市長の選挙公約の一つであり、期待している市民も多いと思う。迅速に行うべきではないかと考えるが、具体的な方策を問う。

**答** 学校給食の無料化を目指すことは、経済状況が悪化・低迷する中で、子育て世代の経済的負担を軽減するための施策として、公約に挙げたものである。

しかし、現在、国会において、目的を同じとする子ども手当の支給が具体化しており、厳しい財政状況の中、バランスのある予算配分をしていく必要があると考えている。

今後は、市民等の意向を把握し、子育てしやすい街づくりに関する全体的な事業の優先度を考慮する中で、判断していきたい。

### 文学館

**問** 文学館の整備については、なかなか進んでいないように感じるが、進捗状況

**答** 文学館の設置予定場所であるメディアパークの1階には中央図書館があり、来館者数も多く、文学関係の蔵書もあることから、文学的なリンクが出来るものと判断した。メディアパークの良さを上手く活用していきたいと考えている。

## 社民・市民ネット

- 勝亦 竜大 秋本のり子
- 湯浅 止子

### 給食費の無料化

**問** 学校給食の無料化については、国の子ども手当の動向も注視しながら、保護者を含めた市民の意向を確認した上で検討していきたいとのことである。

**答** しかし、学校給食の無料化は、市長の選挙公約の一つであり、期待している市民も多いと思う。迅速に行うべきではないかと考えるが、具体的な方策を問う。

**答** 学校給食の無料化を目指すことは、経済状況が悪化・低迷する中で、子育て世代の経済的負担を軽減するための施策として、公約に挙げたものである。

しかし、現在、国会において、目的を同じとする子ども手当の支給が具体化しており、厳しい財政状況の中、バランスのある予算配分をしていく必要があると考えている。

今後は、市民等の意向を把握し、子育てしやすい街づくりに関する全体的な事業の優先度を考慮する中で、判断していきたい。

### 文学館

**問** 文学館の整備については、なかなか進んでいないように感じるが、進捗状況

**答** 文学館の設置予定場所であるメディアパークの1階には中央図書館があり、来館者数も多く、文学関係の蔵書もあることから、文学的なリンクが出来るものと判断した。メディアパークの良さを上手く活用していきたいと考えている。